

大須店1店舗から、 安全に運用を確かめる

2026年10月5日 相談用

提案版 5 / 公式情報の再確認：2026年10月4日

今回の提案

口コミの確認と承認返信、決めた条件での順位計測を1店舗で試します。対応漏れと作業負担を減らせるか、実データで判断します。

当日の着地点

- 1 対象店舗と利用者を決める
- 2 Googleの権限・API申請状況を確認
- 3 初期機能と月額上限を決める
- 4 次の作業に担当者と期限を付ける

画面試作はありますが、本資料は接続・実装の提案です。KIWAMI大須店の実GBP ID、権限、API接続成功は未確認です。実証開始・費用・納期は合意前です。順位や来店数の上昇は保証しません。

Googleログインだけで 利用を許可しない

本人確認と店舗権限を両方確認

各担当者が自分のGoogleアカウントでログイン。本人のOAuthで大須店を管理できるか、サーバー側からGoogleへ確認します。

- ① Googleログイン：誰かを確認
- ② GBP OAuth：Google操作への同意
- ③ GBP店舗権限：扱える店舗を確認
- ④ アプリの役割：承認等の操作を制限

所有権はKIWAMIが保持

通常の利用担当は必要に応じて管理者。主要所有者の移譲や共通パスワードの配布は不要です。

GBP管理者は閲覧専用ではなく、Google画面からも直接操作できます。初期は実際の運用担当者に限定。閲覧専任者の追加は別途検討します。アプリの承認制御はアプリ経由の操作に適用されます。

公式：所有者と管理者の権限

何を、どうつながるか

担当者 → MEO管理画面

Googleでログイン。口コミ・返信文・対象店舗を確認して承認します。



管理画面 → サーバー

Cloud Run等で本人・店舗権限・承認を検査。トークンは画面に出しません。



サーバー → Google公式API

アカウント → 店舗ID → 口コミの順に取得。承認後に返信し、審査状態を再取得。

順位計測は別ルート

サーバー → DataForSEO等のSERP API。Google OAuthとは別の契約・認証を使い、地点・キーワード等を固定して計測します。

誰が何を用意するか

KIWAMI側：店舗と運用の確認

- ・ 大須店を管理できる所有者／管理者
- ・ 現在の返信担当、承認者、不在時の担当
- ・ 口コミ件数、困っている作業、初期指標
- ・ 月額上限、開発予算、開始希望

契約責任者：名義と費用の確認

- ・ 自社内ツールか、外部SaaSか
- ・ 既存CloudプロジェクトとAPI承認状況
- ・ SERP・AI等の契約者、保管地域
- ・ プライバシー方針と委託条件

開発担当：接続と検証

- ・ Google OAuth、本人と店舗の照合
- ・ 読取り → 承認返信1件 → 順位計測
- ・ 失効時の停止、監査、費用監視

当日は権限を持つ方がGoogle画面で確認できると進めやすくなります。パスワード・秘密鍵・トークンは資料やチャットへ記載しません。実IDは限定公開の設定台帳で管理します。

最初は読取りから。 運用まで段階的に確認

STEP 1 / 接続条件を確認

実店舗・本人のGBP権限・API承認・OAuthの公開状態を確認。大須店の口コミを読み取り、別店舗や権限のない人は拒否します。

STEP 2 / 1店舗で運用

本アプリからの返信は全件承認。許可された実口コミ1件で送信を試し、順位は1地点・5語・1日1回を起点にします。

STEP 3 / 結果を見て広げる

作業時間、確認待ち件数、手直し率、実費を比較。合格条件を満たした後、他店舗や機能追加を判断します。

初期候補：ログイン、店舗連携、口コミ一覧、承認返信、単一地点順位、エラー通知、監査、停止。即時通知、限定自動返信、顧客ログイン、アンケート整形、多地点計測は次段階です。

API申請と提供形態は 実装前に確定する

3つは別の確認です

API承認、OAuth設定・必要な審査、店舗管理権限を別々に確認します。審査完了日は確約しません。

名義の決め方

KIWAMIの自社内ツールなら、KIWAMIが管理・引継ぎできるプロジェクトを候補に。外部SaaSなら提供者の承認済みプロジェクトと契約・責任分界を確認します。

提供者が自社ツールを使わせるために、顧客へ各自のGBP APIプロジェクト申請を要求する形はGoogleポリシーで禁止されています。

当日確認するもの

- ・ 確認済みで60日以上稼働したGBP等
- ・ 申請メールが対象GBPの所有者／管理者か
- ・ 申請project番号、承認・クォータ
- ・ OAuthの公開状態と同意内容

business.manageは読取り専用ではありません。External+Testingでは該当refresh tokenは7日で失効します。

保存とAI利用は、 使える条件を先に確認

30日なら何でもできる、とは扱わない

GBP APIには一時保存・期間・安全性・加工や集約の制約があります。長期分析、帳票、AIへの本文送信を標準機能として確約しません。

最初の扱い

- ・ GBP原文はオンデマンド中心
- ・ 原文・トークンを通常ログに残さない
- ・ 必要な保持期限と削除手順を決める
- ・ バックアップ、出力PDF、委託先も確認

AIは条件が揃ってから

利用・保存・外部送信の目的を明示。AI提供先の学習利用・保持・人の閲覧・再委託先を確認し、必要な同意を得ます。

Google側とAI提供先の両方の条件を満たすまで、人が返信文を作成します。匿名化や集計だけで自由に使えるとは判断しません。AIには返信送信権限を与えません。

公式：GBP APIポリシー / Googleユーザーデータポリシー

費用は計測条件と 運用体制から見積もる

初期計測案：月150検索

1店舗 × 5語 × 1地点 × 1日1回 × 30日

DataForSEO Standard基礎従量額：USD 0.09

Live：USD 0.30 / 最低入金額：USD 50

1検索＝1ページの基礎単価での試算です。追加深度、再計測、オプション、税・為替等は別。従量額と入金額を区別します。

比較候補のSerpApiは月1,000検索USD 25、5,000検索USD 75。無料枠だけを本番運用の前提にしません。公開料金は2026年10月4日確認、契約時に再確認します。

総額にはほかの費用も入ります

クラウド・DB・監視・バックアップ

＋ SERP ＋ AI ＋ 運用保守

＋ 人の承認時間。開発費は別途見積。

GBP API自体は登録利用者向けに無償です。月額の手建て上限・予備費・課金契約者を決めます。80%で通知、上限で任意処理停止を協議。固定費・処理中の費用等残るため、請求額を保証する停止ではありません。

当日決定欄 1

対象・権限・初期範囲

空欄は未決です。各項目を「決定／条件付き／持ち帰り」で残します。

01 実証の対象

大須店案：採用／別店舗／持ち帰り

GBP・所有者確認：済／未

初期指標：_____

02 利用者と提供形態

運用担当：_____

承認担当・不在時：_____

自社内ツール／外部SaaS／要確認

API申請・OAuth確認担当：_____

03 初期範囲

必須機能：_____

次段階：_____

順位：_____語 × _____地点 × 日_____回

決定者：_____

未決条件：_____

実行担当・期限：_____

当日決定欄 2

予算・合格条件・次の作業

04 費用とデータ利用

月額総上限：_____円

開発予算：_____円

課金契約者・超過承認者：_____

保存／AIの確認担当・期限：_____

05 実証の合格条件

期間：_____

返信対応時間の目標：_____

手直し率・費用条件：_____

安全性の必須確認：別店舗へのアクセス拒否、未承認送信の拒否、権限喪失時の停止、通信失敗後の再照合。APIのAPPROVEDは審査承認であり、必要に応じ公開画面も確認します。

06 次の作業

作業：_____

担当・回答期限：_____

次回確認日：_____

PDFへの注釈・手書き、または議事録で記録してください。

公式参照先・詳しい資料

下記のリンクはタップして開けます。API機能の存在と、KIWAMIでの接続成功は別です。実際の利用条件・承認状況は接続前に確認します。

Google：GBP API申請前提

Google：GBP OAuth

Google：OAuthトークン期限

Google：所有者と管理者の権限

Google：口コミ返信APIと審査状態

Google：GBP APIポリシー

Google：APIユーザーデータポリシー

Google：Performance指標

Google：GBP API料金

DataForSEO：Maps料金と追加条件

DataForSEO：最低入金額

SerpApi：料金プラン

詳細版の構成

接続構成（index.html）／費用と運用の詳細（technical-details.html）／当日決定シート（decision-sheet.html）。詳細版には具体的なAPI、保存・失効設計、試験項目を収録しています。